

目標および成果指標の設定 記入様式

活動団体名： 佐渡市

上位関連計画にみる地域の将来
 ○地球温暖化対策推進法や政府の目標：2013年度比で2030年までに46%削減、2050年までにカーボンニュートラル達成
 ○第5次エネルギー基本計画における、2030年に実現を目指す再エネの電源構成比率：22～24%、2030年に実現を目指す実質エネルギー効率（最終エネルギー消費量/実質GDP）35%減。
 ○現在の人口：51,970人、将来：42,058人（2030年）、29,470人（2045年）（日本の地域別将来推計人口（平成30年推計））

②具体的な取組
 ※誰が何をするのか、主なものをお書きください。
 朱鷺と暮らす郷づくり認証制度の多様な活用（市・JA・協議会）
 人づくり事業（大学・市）
 プラットフォームづくり

①ありたい未来
 ※どのような地域にしたいのか、何を引き継いでいきたいのかなど、具体的にお書きください

→ 佐渡の豊かな自然と暮らしの保全・再生
 当地域においても、日々の生活において生物多様性豊かな環境から多くの恩恵を受けて成立している。このような環境を今後も後世に渡って適切に保全・再生していかなければならない。長きに渡り培われてきた豊かな自然・歴史・文化などについて、市民一人ひとりが「知る・守る・使う」ことによって保全・再生を推進する。

③短期目標

分野	小項目	成果指標	現状値	目標値 (2021年度末)	実績値 (2121年度末)	単位
環境	地域の取組状況	認証米作付面積	1,044	1,044	1,072	ha
経済	佐渡を使う	トキの森入園者数	58	288	推測 63	千人
社会	佐渡を使う	首都圏認証米導入校数	0	1	1	校
	佐渡を使う	産地交流事業	3	3	3	回
	佐渡を知る	ユースワークショップ	0	1	1	回

④長期目標

分野	小項目	成果指標	現状値	目標値 (2022年度末)	目標年度 2030-2050年度	目標値	単位
環境	地域の取組状況	認証米作付面積	1,072	1,044	—		ha
経済							
社会	佐渡を使う	首都圏認証米導入校数	1	1	—		校
	佐渡を使う	産地交流事業	3	3	—		回

⑤短期指標が長期目標にどのように関わるのかお書きください

佐渡の豊かな自然と暮らしの保全・再生を目指すための短期目標は、生物多様性地域戦略における計画目標の一部及び現状の活動における目標となる。
 なお、長期目標には今後他分野（佐渡総合戦略・環境・エネルギー等）での調整が整いとする。

※環境・経済・社会がどのように関係し合い、相互に高まっていくのか具体的にお書きください